

2006年の天候

2006年（平成18年）の特徴：

○年平均気温は全国で高温

年平均気温平年差は北日本+0.4℃、東日本+0.4℃、西日本+0.6℃、南西諸島+0.6℃で、4地域とも高かった。1月から7月にかけては、全国的に気温が10日程度の周期で変動することが多く、8月以降は全国的に高温となるが多かった。

○平成18年豪雪

平成17年12月から1月上旬にかけて強い冬型の気圧配置が断続的にあられ、日本海側では記録的な大雪となったほか、1月中旬以降も山沿いを中心にたびたび大雪となった。このため、雪下ろし中の事故等甚大な人的被害や交通機関等への大きな影響があり、「平成18年豪雪」と命名された。

○春から梅雨時期にかけて全国的に日照時間の少ない状態が続いた

春は低気圧や前線の影響を受けやすく、梅雨入り以降も梅雨前線の活動が活発で曇りや雨の日が多く、春から梅雨時期にかけて全国的に日照時間が顕著に少なかった。梅雨明け以降は一転、日照時間は平年を上回ることが多くなったが、年間日照時間は全国で少なかった。

○平成18年7月豪雨

梅雨前線の活動が活発で全国的に大雨が発生したが、特に、7月15日から24日にかけては、本州から九州にかけての広い範囲で豪雨となり、甚大な被害が発生し、「平成18年7月豪雨」と命名された。

○竜巻による大きな災害が発生

台風や前線などに伴い、宮崎県延岡市や北海道佐呂間町などでは竜巻による大きな災害が発生した。

○台風の発生数は少なく、接近数は平年並

台風発生数は23個（平年26.7個）と少なく、接近数は10個（平年10.8個）と平年並だった。年間の上陸数は2個（平年2.6個）だった。9月中旬の台風第13号の接近・上陸により九州地方を中心に大きな被害があった。

1 概況

平成17年12月から1月上旬にかけて強い冬型の気圧配置が断続的にあられ、日本海側では記録的な大雪となった。1月中旬以降は、気温の変動が大きくなったが、山沿いを中心とした大雪と雪崩・融雪が繰り返される状況が続き、積雪を観測している339地点のうち23地点で積雪の最大記録を更新した。この記録的な大雪により、雪下ろし中の事故等甚大な人的被害や交通機関等への大きな影響があり、「平成18年豪雪」と命名された。

春は気温の変動が大きく、春の平均気温は南西諸島で高かったが、北・東・西日本は平年並

となった。また、4月に動きの遅い寒冷低気圧や前線の影響で全国的に天気がぐずつき、5月は前線が本州南岸に停滞し曇りや雨の日が多くなるなど、春は低気圧や前線の影響を受けやすく、北・東・西日本で日照時間が顕著に少なかった。

梅雨入りは、九州南部で早かったほかは平年並か平年より遅かったが、梅雨前線の活動は活発で、全国的に大雨が発生した。特に、7月15日から24日にかけては、本州から九州にかけての広い範囲で豪雨となり、大きな災害が発生し、「平成18年7月豪雨」と命名された。梅雨明けは、南西諸島で平年より早く、九州地方から東北地方にかけては平年より遅かった。このため、6月から7月にかけて南西諸島をのぞき日照時間の少ない状況が続き、夏の日照時間は、ほぼ全国的に少なかった。一方、梅雨明け以降は太平洋高気圧におおわれて晴れの日が続き、西日本中心に8月に顕著な高温となるなど夏の平均気温は、全国的に高かった。

秋は寒気の南下が一時的で、移動性高気圧に覆われたため、晴れて暖かい日が全国的に多かった。秋の平均気温は全国で高温となり、特に10月は東日本と西日本で記録的な高温となった。秋雨前線の活動は全般に弱く、西日本から南西諸島にかけては顕著な少雨となった。日照時間も全国的に平年を上回った。一方、発達した低気圧が通過しやすかった北・東日本では大雨となることもあり、また、11月には大気の状態が不安定となりやすく、各地で短時間強雨や竜巻などが観測され、北海道佐呂間町の竜巻等で大きな被害が発生した。

12月も冬型の気圧配置が平年に比べ現れにくかったため全国的に高温となったほか、日本海側の降雪量は平年を下回った。

台風発生数は23個（平年26.7個）と少なく、接近数は10個（平年10.8個）と平年並だった。年間の上陸数は2個（平年2.6個）だった。9月中旬の台風第13号の接近・上陸により九州地方を中心に大きな被害があり、宮崎県延岡市では台風に伴い竜巻が発生した。

2 気温、降水量、日照時間等の気候統計値

(1) 平均気温

年平均気温は、全国的に高く、南西諸島ではかなり高かった。平年を0.5℃上回ったところが多く、西日本の一部では平年を1℃以上上回った。

(2) 降水量

年降水量は、北日本、東日本太平洋側、および西日本で多く、東日本日本海側と南西諸島では平年並だった。東北地方の太平洋側や九州地方などでは、平年の120%以上のところがあり、小名浜（福島県）では年降水量の最大値を更新した。

(3) 日照時間

年間日照時間は、全国的に少なかった。特に、北日本から東日本にかけての太平洋側ではかなり少なく、所々で平年の90%未満となった。潮岬（和歌山県）では、年間日照時間の最小値を更新した。

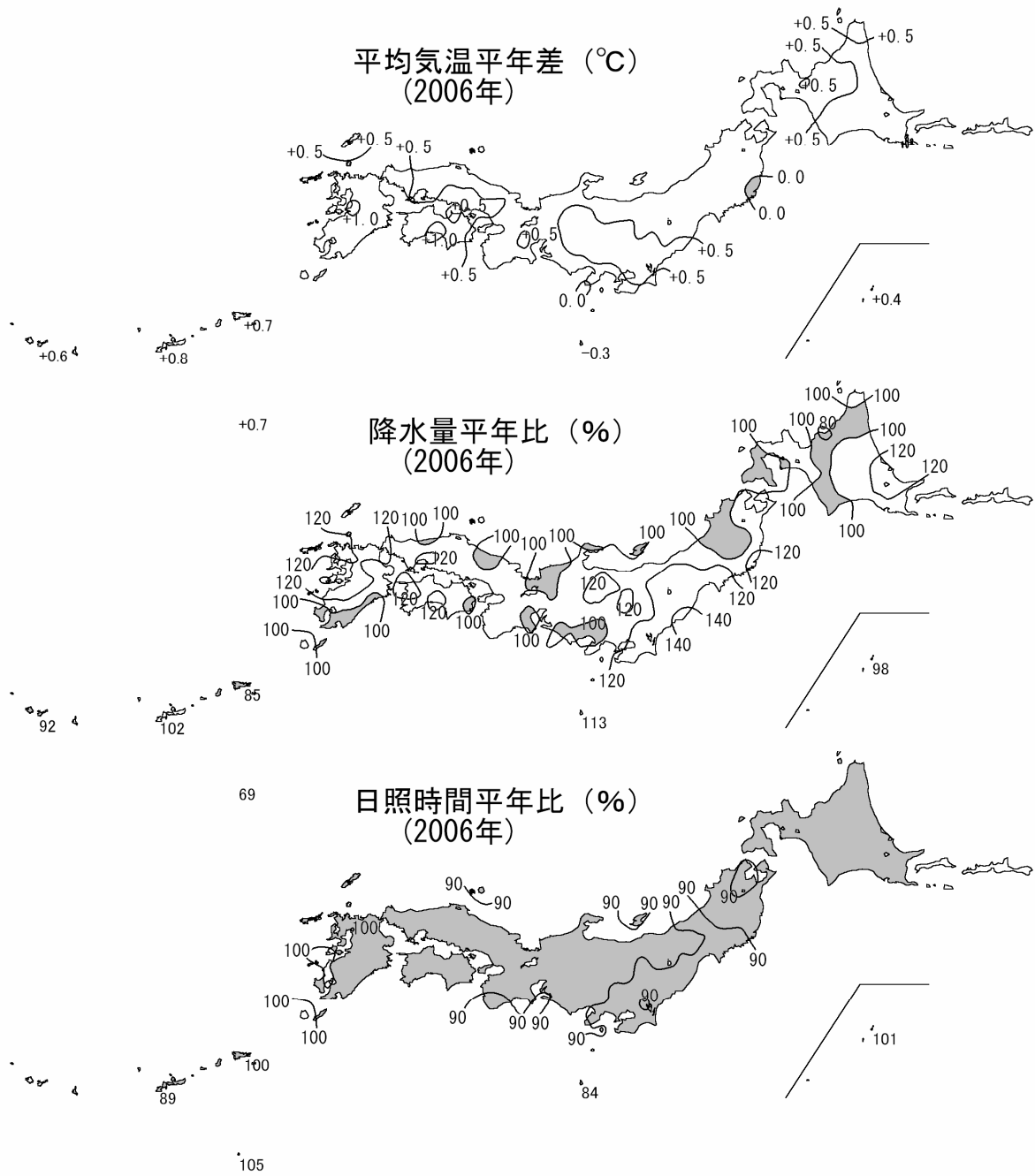
地域平均平年差（比）と階級（2006年）

	気温 平年差 ℃（階級）	降水量 平年比 %（階級）	日照時間 平年比 %（階級）		気温 平年差 ℃（階級）	降水量 平年比 %（階級）	日照時間 平年比 %（階級）
北日本	0.4 (+)	108 (+)	93 (-)	北海道	0.5 (+)	101 (0)	95 (-)
		日 102 (+)	日 93 (-)			日 98 (0)	日 94 (-)
		太 113 (+)	太 93 (-)*			才 108 (+)	才 98 (0)
				東北	0.2 (0)	太 101 (0)	太 94 (-)
						116 (+)*	90 (-)*
						日 111 (+)	日 91 (-)
						太 121 (+)*	太 90 (-)*
東日本	0.4 (+)	110 (+)	91 (-)*	関東甲信	0.5 (+)	118 (+)	90 (-)*
		日 103 (0)	日 93 (-)	北陸	0.3 (+)	103 (0)	93 (-)
		太 111 (+)	太 90 (-)*	東海	0.4 (+)	102 (0)	91 (-)*
西日本	0.6 (+)	111 (+)	96 (-)	近畿	0.4 (+)	108 (+)	93 (-)
		日 115 (+)	日 97 (-)			日 107 (+)	日 93 (-)
		太 108 (+)	太 95 (-)			太 109 (+)	太 93 (-)
				中国	0.4 (+)	107 (+)	94 (-)
						陰 100 (0)	陰 94 (-)
						陽 116 (+)	陽 94 (-)
				四国	0.7 (+)	110 (+)	94 (-)
				九州北部	0.7 (+)	121 (+)	98 (-)
				九州南部	0.8 (+)*	99 (0)	98 (-)
				本	0.8 (+)*	本 101 (0)	本 98 (-)
				奄	0.7 (+)*	奄 88 (-)	奄 99 (0)
南西諸島	0.6 (+)*	100 (0)	95 (-)	沖縄	0.6 (+)*	105 (0)	93 (-)

階級表示 (-):低い(少ない) (0):平年並 (+):高い(多い)
 (*):はかなり低い(少ない)、かなり高い(多い)を表す

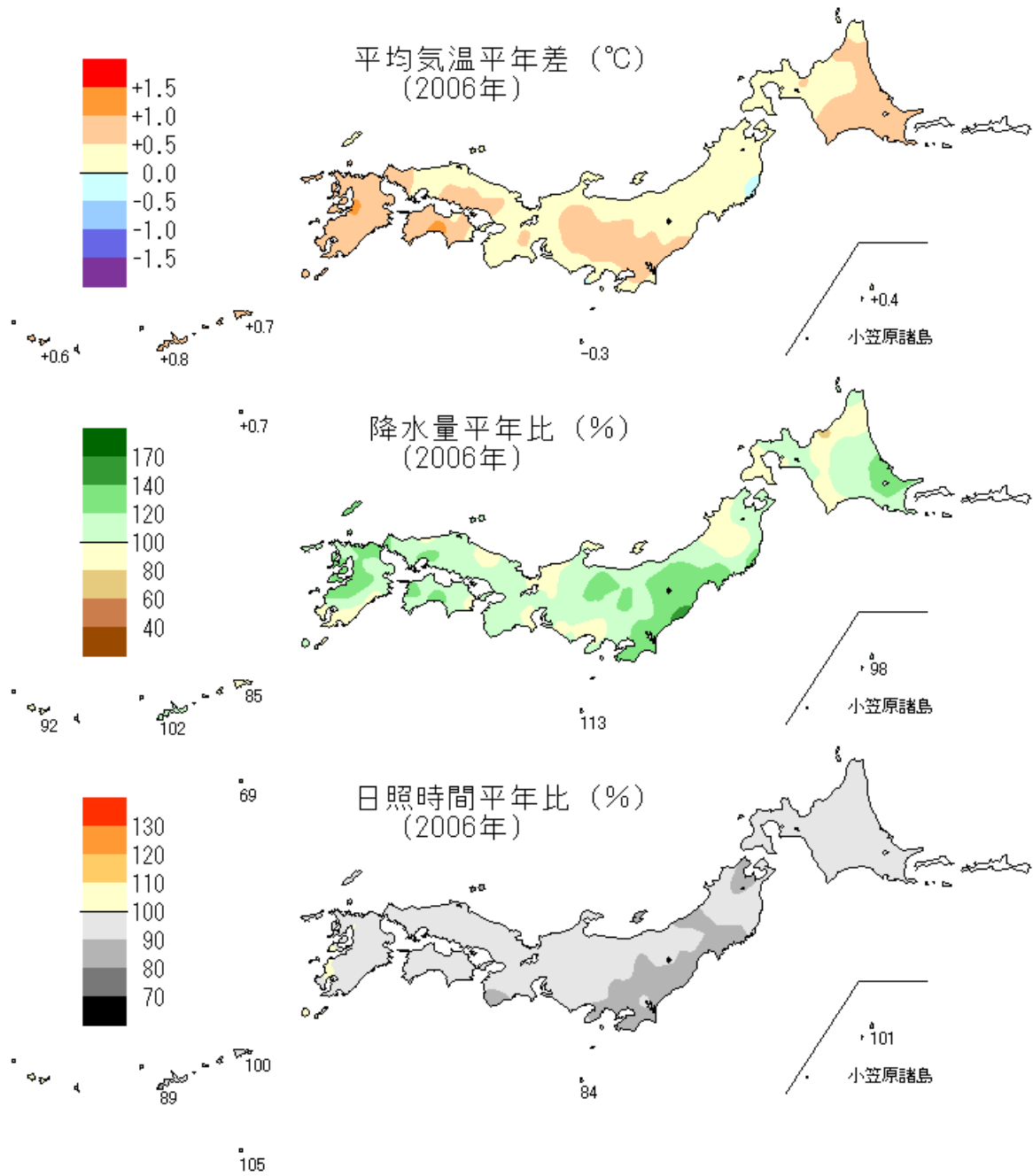
地域表示 日:日本海側 陰:山陰 本:本土(九州南部)
 才:オホーツク海側 陽:山陽 奄:奄美
 太:太平洋側

平年偏差(比)図(2006年)(等値線図)

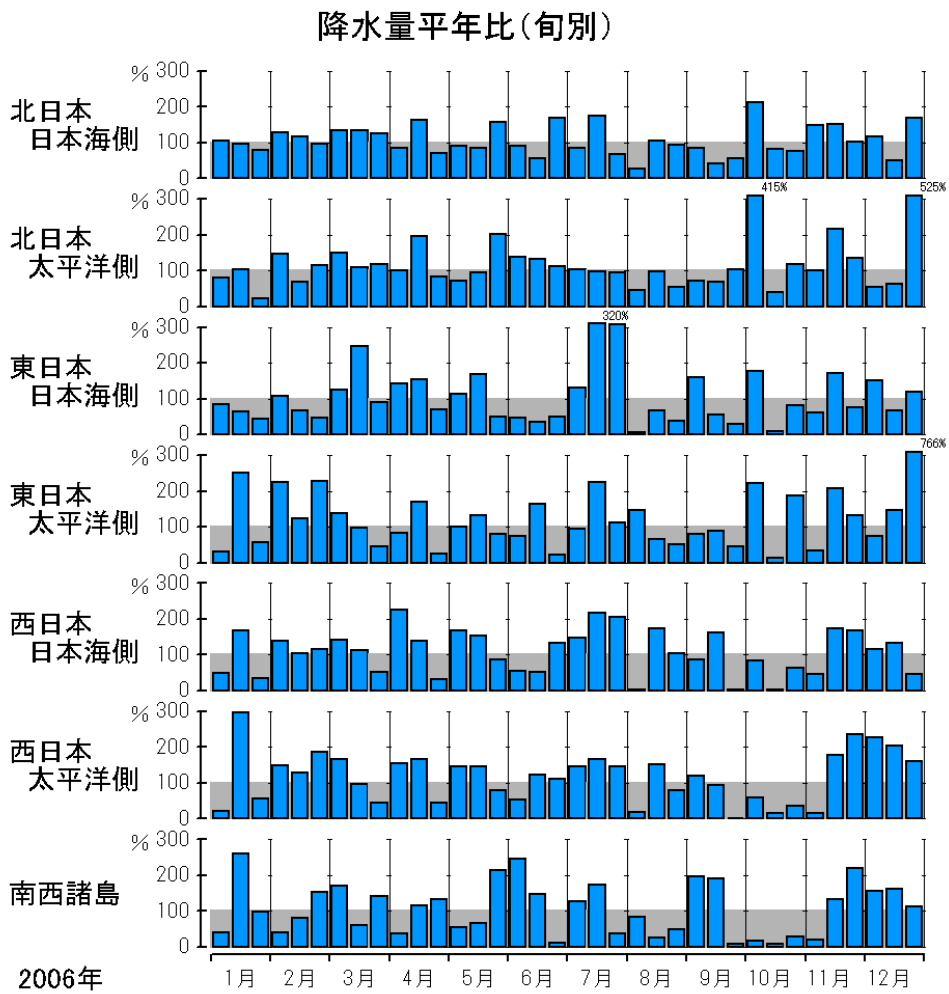
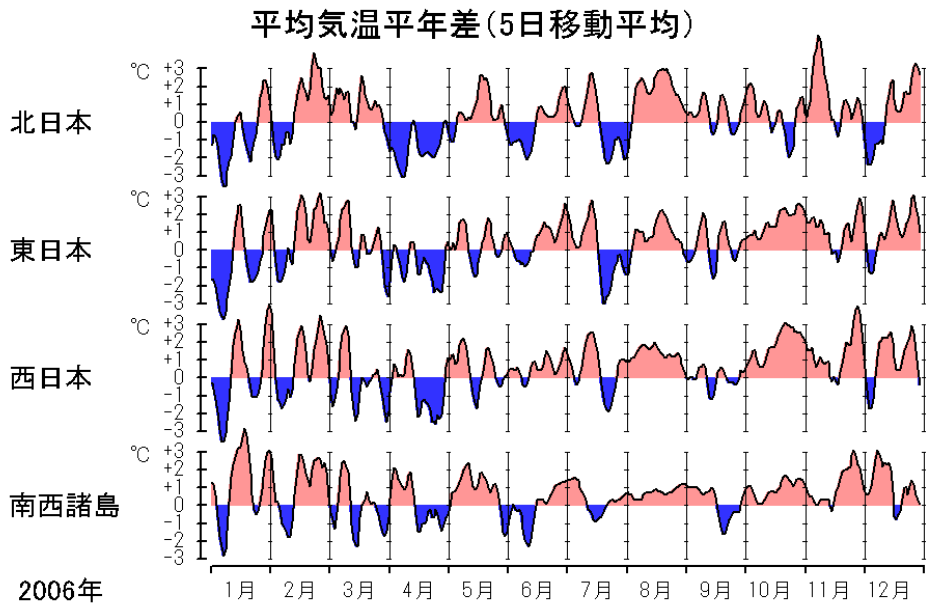


注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す。

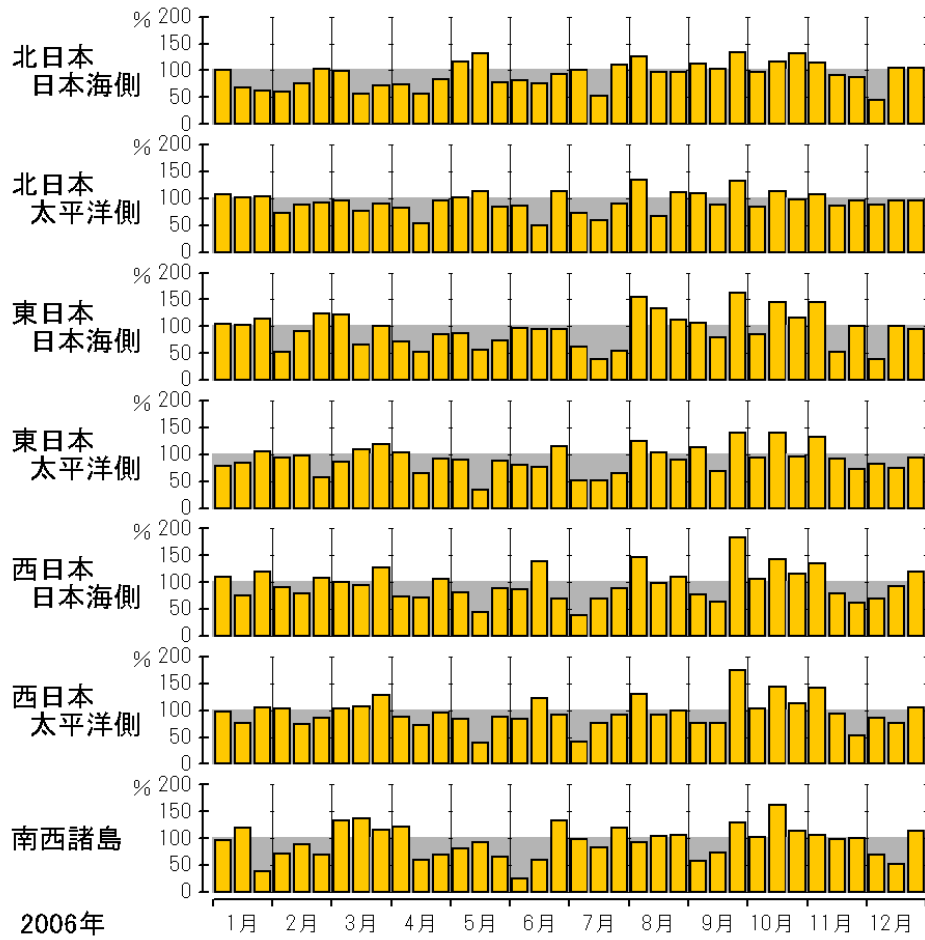
平年差（比）図（2006年）



地域平均平年差（比）の経過



日照時間平年比(旬別)



観測史上1位の値（月、3か月、年別値）の更新状況

- ・数字は1位を更新した地点数でタイ記録は含めない、タイ記録がある場合には「タイ地点数」として横に併記した
- ・地域は更新およびタイ記録の地点数の合計が5以上のとき記載

	平均気温		降水量		日照時間		降雪の深さ	最深積雪
	最高	最低	最大	最小	最大	最小	最大	最大
1月	0	0	0	5 北・東日本	0	1	0	1
2月	0	0	0	0	0	0	0	1タイ
冬	0	0	0	1	0	0	6 北・西日本	
3月	1タイ	0	0	0	1	2	0	0
4月	0	0	1	0	0	14 北・西日本	0	0
5月	0	0	1	0	0	6 北・東・西日本		
春	0	0	3	0	0	8 北・東・西日本		
6月	0	0	1	2	0	0		
7月	1	0	8 東・西日本	0	0	9 北・東日本		
8月	4、1タイ 西日本	0	0	1、1タイ	0	0		
夏	0	0	0	0	0	0		
9月	0	0	0	0	1	1		
10月	9、5タイ 西日本	0	0	7 西日本 南西諸島	9 北・西日本 南西諸島	0		
11月	0	0	1	0	0	0	0	0
秋	1	0	0	0	0	0		
12月	1	0	9 北・東・西日本	0	0	2	0	0
年 (2006年)	0	0	1	0	0	1		

3 季節別の天候経過

冬（昨年 12 月～2 月）：

- 平成 17 年 12 月から 1 月上旬を中心に顕著な低温・大雪となった（平成 18 年豪雪）
- 冬平均気温は北・東・西日本で低温、南西諸島で平年並だった。
- 冬降水量は、北日本太平洋側と南西諸島で平年並のほかは多かった
- 冬日照時間は、全国で少なかった

12 月から 1 月上旬にかけて非常に強い寒気が日本付近に南下し、強い冬型の気圧配置が断続的に現れたため日本海側では記録的な量の降雪となった。この大雪により、雪下ろし中の事故等甚大な人的被害があり、交通機関等への大きな影響があった。積雪を観測している 339 地点のうち 23 地点で積雪の最大記録を更新したほか、12 月としての最大記録を 106 地点で、1 月としての最大記録を 54 地点で、また 2 月としての最大記録を 18 地点で更新した。また、12 月の平均気温は 1985 年以来 20 年ぶりに全国すべての地域で低温となり、東・西日本では 1946 年以降の最低記録を更新した。

1 月中旬以降は気温の変動が大きくなり、一時的な大雪と雪崩・融雪が繰り返される状況が続いた。また、次第に気温が平年を上回る日も多くなり、南西諸島では 1 月、2 月ともに高温となり、東・西日本でも 2 月は高温となった。このほか、低気圧や前線の影響を受ける日も多く、東・西日本太平洋側の地方を中心に曇りや雨または雪の日が多くなり、東日本太平洋側でも大雪となる日があった。

平均気温は、北・東・西日本で低く、南西諸島で平年並だった。降水量は、北日本太平洋側、南西諸島で平年並のほかは多かった。日照時間は、全国的に少なく、特に東日本日本海側と南西諸島ではかなり少なかった。

春（3～5 月）：

- 気温の変動が大きく、気温は北～西日本で平年並、南西諸島が高かった
- 降水量は、北日本、東日本日本海側と西日本で多かった
- 日照時間は、北・東・西日本でかなり少なかった

北～西日本で低気圧や前線の影響を受けやすく、天気がぐずついた。3 月は、西日本太平洋側と南西諸島で高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、北日本と東日本日本海側は低気圧や一時冬型の気圧配置が強まった影響で曇りや雨または雪の日が多く、大雪となる所もあった。4 月は、全国的に動きの遅い寒冷低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多く、北～西日本は低温となった。5 月は、北日本では北海道を中心に高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、中旬を中心に前線が本州南岸に停滞したため、東日本～南西諸島は曇りや雨の日が多く、台風第 1 号などの影響により暖湿流が流れ込んで多雨となった。このため、春の日照時間は北～西日本でかなり少なく、東日本日本海側は 1946 年の統計開始以降 1 位の少ない記録を更新した。なお、南西諸島は平年並だった。また、春の降水量は北日本、東日本日本海側と西日本で多かった。特に、東日本日本海側は 3 月に一時冬型の気圧配置が強まり、西日本日本海側は 5 月に暖湿流が流れ込んだ影響もあってかなり多かった。なお、北日本は 3 月と 5 月に高温となったが、4 月は強い寒気の影響で顕著な低温となるなど気温の変動が大きかった。また、東・西日本や南西諸島では気温は短い周期で変動した。

平均気温は、南西諸島で高いほかは平年並だった。降水量は、北日本、東日本日本海側と西日本で多いほかは平年並だった。日照時間は、北・東・西日本でかなり少なく、南西諸島は平年並だった。

夏（6～8月）：

- 活発な梅雨前線により、東日本から西日本の広い範囲で豪雨となった（平成18年7月豪雨）
- 短時間強雨が多発した
- 気温の変動が大きかったが、全国的に高温となった
- 日照時間がほぼ全国的に少なかった

今年の梅雨入りは、ほぼ平年並であった。梅雨前線の活動は活発で、曇りや雨の日が多く、6月前半には南西諸島、6月後半から7月にかけては東日本から西日本にかけての広い範囲で大雨となった。梅雨明けは、南西諸島で平年より早く、九州地方から東北地方にかけては平年より遅かった。このため、南西諸島をのぞき日照時間の少ない状況は7月まで続き、8月に入り、太平洋高気圧におおわれて、晴れる日が続くようになり、日照時間も平年を上回るようになった。

6、7月と日照時間が少なかったことから、3か月日照時間は、ほぼ全国的に少なかった。8月に入っても、時々東よりの湿った気流の影響を受け曇ることが多かった関東甲信地方や北日本太平洋側ではかなり少なくなったところもあった。

夏平均気温は全国的に高温となった。6月前半や7月後半には、寒気の南下や、オホーツク海高気圧の影響などでほぼ全国的に低温となり、8月には西日本を中心に太平洋高気圧におおわれ、晴れて高温となるなど気温の変動が大きかった。

台風の発生は11個（第2号から第12号、平年11.3個）、南西諸島では5個（第3、4、5、8、9号、平年4.5個）の台風が、本土では2個（第7、10号、平年3.1個）の台風が接近し、そのうち台風第10号は、宮崎県に上陸した後、九州地方をゆっくりと縦断したことから、九州地方や四国地方の一部で大雨となった。

平均気温は、全国で高かった。降水量は、西日本で多く、北日本日本海側では少なく、そのたの地方では平年並だった。日照時間は、東・西日本日本海側で平年並のほかは少なかった。

秋（9～11月）：

- 全国的に高温となった
- 西日本と南西諸島で少雨となった
- 台風や発達した低気圧による大雨と竜巻が発生した
- 台風の発生、接近はやや少なく、上陸は平年並であった

寒気の南下は一時的で、移動性高気圧に覆われたため、晴れて暖かい日が全国的に多かった。3か月平均気温は全国で高温となり、特に10月は東日本と西日本で記録的な高温となった。秋雨前線の活動は全般に弱く、西日本から南西諸島にかけては低気圧の活動も弱かった。このため、西日本から南西諸島にかけては少雨となり、梅雨明け以降降水量の少ない状態が続いていた奄美地方や大東島地方などでは渇水が深刻となった。東日本や北日本でも晴れる日が多かったが、南からの暖かく湿った気流により発達した低気圧が通過した際には、関東地方から北海道にかけての太平洋側では大雨となった。また、11月には前線近傍で大気の状態が不安定となりやすく、各地で積乱雲による短時間強雨や竜巻などが観測され、被害が発生した。また、春から夏にかけて日照時間が全国的に少なかったが、秋は北日本日本海側と東日本日本海側、西日本では多くなり、そのほかの地方でも平年を上回った。

台風の発生は9個（第13号から第21号、平年11.5個）、接近は、南西諸島に1個（第13号、平年2.8個）、本土に1個（第13号、平年2.3個）、小笠原諸島に2個（第14号、第18号、平年2.5個）だった。上陸は1個で、9月16日から20日にかけて台風第13号が先島諸島を通過し長崎県に上陸した後、日本海を北上した。この影響で西日本や南西諸島では暴風や大雨、竜巻による大きな被害が発生した。

平均気温は、全国で高かった。降水量は、北日本太平洋側で多く、西日本、南西諸島は少なく、東日本と北日本日本海側は平年並だった。日照時間は、北日本太平洋側と南西諸島で平年並のほかは多かった。

4 全国気候表 2006年

地点名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比) 階級		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級			
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)		(h)	(%)		
札幌	9.1	(+0.6)	+	1145.5	(102)	+	143	1725.4	(97)	○
稚内	7.0	(+0.4)	+	1126.0	(106)	+	153	1434.3	(96)	—
北見枝幸	6.3	(+0.5)	+	995.5	(82)	—*	151	1520.1	(97)	○
旭川	7.1	(+0.4)	+	1101.0	(102)	○	154	1538.5	(95)	—
留萌	8.0	(+0.4)	+	910.5	(77)	—*	167	1465.7	(94)	—
羽幌	8.0	(+0.6)	+	1205.5	(93)	—	171	1456.8	(91)	—*
岩見沢	7.8	(+0.4)	+	1124.0	(97)	○	162	1648.1	(94)	—
倶知安	7.1	(+0.4)	+	1578.0	(105)	+	182	1396.5	(95)	—
小樽	8.6	(+0.2)	○	1291.5	(106)	○	164	1556.7	(94)	—
寿都	8.6	(+0.1)	○	1177.5	(101)	○	159	1388.1	(95)	—
網走	7.0	(+0.8)	+	1028.0	(128)	+*	129	1854.8	(100)	○
紋別	6.7	(+0.6)	+	1006.5	(120)	+	115	1689.7	(98)	○
雄武	6.1	(+0.6)	+	912.5	(102)	○	118	1676.0	(98)	○
釧路	6.7	(+0.7)	+	1252.5	(120)	+	96	1897.3	(95)	—
根室	6.6	(+0.5)	+	1126.5	(109)	+	97	1688.3	(91)	—*
帯広	7.3	(+0.8)	+	963.5	(105)	○	85	1950.3	(97)	—
広尾	7.3	(+0.7)	+	1663.0	(96)	○	119	1768.9	(95)	—
室蘭	8.6	(+0.2)	○	1134.0	(93)	○	137	1566.6	(90)	—*
苫小牧	7.7	(+0.2)	+	1365.0	(111)	+	112	1671.0	(96)	—
浦河	8.3	(+0.5)	+	969.0	(88)	—	116	1730.0	(92)	—
函館	9.2	(+0.4)	+	1010.0	(87)	—	144	1647.8	(92)	—
江差	10.1	(+0.3)	○	1057.5	(90)	—	153	1351.3	(92)	—
青森	10.2	(+0.1)	○	1422.5	(110)	+	158	1464.6	(87)	—*
深浦	10.7	(+0.1)	○	1434.5	(97)	○	158	1385.0	(92)	—
むつ	9.4	(0.0)	○	1366.0	(105)	+	152	1551.9	(93)	—
八戸	10.2	(+0.2)	○	1023.5	(102)	○	92	1820.7	(95)	—
秋田	11.9	(+0.5)	+	1477.0	(86)	—	175	1465.0	(92)	—
盛岡	10.2	(+0.2)	○	1142.5	(91)	—	120	1581.0	(91)	—
大船渡	11.2	(+0.1)	○	1812.5	(119)	+	110	1580.5	(86)	—*
宮古	10.4	(-0.1)	○	1592.0	(122)	+	88	1777.9	(93)	—*
仙台	12.3	(+0.2)	○	1599.5	(129)	+*	107	1636.0	(89)	—
石巻	11.6	(+0.2)	○	1383.0	(130)	+*	114	1785.2	(90)	—*
山形	11.7	(+0.2)	○	1526.0	(136)	+*	138	1524.4	(92)	—
新庄	10.8	(+0.3)	+	1901.5	(103)	○	187	1210.9	(90)	—*
酒田	12.7	(+0.4)	+	1914.5	(103)	○	190	1411.2	(89)	—*
福島	13.0	(+0.2)	○	1489.5	(135)	+*	106	1582.4	(89)	—*
若松	11.7	(+0.3)	○	1580.5	(139)	+*	140	1543.3	(95)	—
白河	11.7	(+0.4)	+	1740.0	(128)	+*	125	1586.2	(86)	—*
小名浜	13.8	(+0.7)	+	1989.5	(144)	+*	108	1808.6	(88)	—*
水戸	13.9	(+0.5)	+	1671.5	(126)	+*	108	1638.6	(87)	—*
館野(つくば)	14.2	(+0.7)	+	1616.5	(131)	+*	104	1672.1	(92)	—
宇都宮	14.2	(+0.8)	+	1695.5	(117)	+	112	1644.7	(85)	—*
日光	7.1	(+0.4)	+	2381.5	(113)	+	123	1595.9	(88)	—*

地点名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)	
前橋	14.8	(+0.6)	+	1479.0	(127)	+*	106	1893.6	(93)	-
熊谷	15.3	(+0.7)	+	1438.5	(116)	+	95	1747.7	(87)	-*
秩父	13.4	(+0.6)	+	1447.5	(115)	+	93	1654.8	(88)	-*
東京	16.4	(+0.5)	+	1740.0	(119)	+	106	1587.8	(86)	-*
大島	16.0	(+0.2)	○	3083.5	(109)	+	129	1630.5	(92)	-*
三宅島	17.6	(+0.1)	○	3648.0	(125)	+*	146	1460.2	(85)	-*
八丈島	18.0	(-0.3)	-	3534.5	(113)	+	195	1257.8	(84)	-*
父島	23.4	(+0.4)	+	1247.0	(98)	○	96	2096.0	(101)	○
千葉	16.0	(+0.6)	+	1726.0	(133)	+*	112	1623.5	(87)	-*
銚子	15.7	(+0.4)	+	1926.5	(122)	+*	124	1717.7	(88)	-*
館山	16.0	(+0.3)	+	2197.0	(125)	+*	115	1655.3	(85)	-*
勝浦	15.9	(+0.4)	+	2406.5	(126)	+*	128	1633.1	(84)	-*
横浜	16.0	(+0.5)	+	1856.0	(114)	+	107	1667.4	(87)	-*
長野	12.1	(+0.4)	+	1155.5	(128)	+*	113	1823.3	(96)	-
松本	12.0	(+0.5)	+	1357.5	(133)	+*	93	1977.3	(94)	-
諏訪	11.4	(+0.6)	+	1545.5	(118)	+	106	2014.2	(96)	-
軽井沢	8.5	(+0.6)	+	1372.0	(115)	+	104	1811.7	(96)	○
飯田	13.1	(+0.6)	+	1767.5	(110)	+	127	1898.2	(96)	○
甲府	15.1	(+0.8)	+	1111.5	(100)	○	95	1961.2	(92)	-
河口湖	10.9	(+0.6)	+	1449.0	(96)	○	113	1748.9	(91)	-*
静岡	16.7	(+0.4)	+	2087.0	(90)	-	114	1847.4	(91)	-*
浜松	16.4	(+0.4)	+	1828.5	(97)	○	116	1990.5	(92)	-
御前崎	16.4	(+0.3)	+	2235.0	(108)	○	110	2003.9	(91)	-*
三島	16.0	(+0.4)	+	1712.0	(92)	○	115	1723.1	(90)	-*
石廊崎	16.4	(-0.1)	○	1946.0	(106)	○	111	1901.5	(91)	-*
網代	16.1	(+0.2)	○	2043.0	(108)	+	115	1485.5	(83)	-*
名古屋	15.9	(+0.5)	+	1611.5	(103)	○	119	1943.6	(95)	-
伊良湖	16.0	(+0.3)	+	1669.0	(103)	○	109	1981.5	(89)	-*
岐阜	16.0	(+0.5)	+	1895.5	(99)	○	124	1938.9	(93)	-
高山	11.3	(+0.7)	+	1879.0	(108)	○	153	1522.7	(94)	-
津	16.0	(+0.5)	+	1385.5	(84)	-	109	1836.5	(91)	-*
上野	14.5	(+0.7)	+	1422.0	(102)	○	127	1578.6	(92)	-
尾鷲	16.1	(+0.2)	+	4270.0	(109)	○	142	1716.9	(90)	-*
四日市	14.9	(+0.3)	+	1986.0	(113)	+	118	1781.8	(91)	-*
新潟	13.9	(+0.4)	+	2014.5	(113)	+	172	1520.8	(92)	-
相川	13.8	(+0.2)	○	1482.5	(98)	○	137	1486.2	(89)	-
高田	13.5	(+0.2)	○	3076.0	(111)	+	196	1488.0	(93)	-
富山	14.2	(+0.5)	+	2583.0	(115)	+	180	1539.1	(96)	-
伏木	13.9	(+0.2)	○	2409.0	(110)	+	180	1540.5	(95)	-
金沢	14.6	(+0.3)	○	2447.0	(99)	○	173	1586.8	(95)	-
輪島	13.4	(+0.2)	○	2117.5	(98)	○	169	1462.5	(92)	-

地点名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級			降水日数			日照時間(平年比) 階級		
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)		≥1mm	(h)	(%)			
福井	14.5	(+0.2)	○	2251.0	(100)	○	168	1562.9	(97)	○		
	敦賀	15.5	(+0.5)	+	1909.0	(86)	-	169	1434.2	(91)	-	
彦根	14.7	(+0.3)	+	1661.5	(103)	○	134	1700.2	(93)	-		
京都	15.9	(+0.3)	○	1582.5	(102)	○	114	1643.6	(95)	-		
	舞鶴	14.8	(+0.5)	+	2002.5	(112)	+	166	1437.3	(94)	-	
大阪	17.0	(+0.5)	+	1399.5	(107)	○	112	1859.9	(95)	-		
神戸	16.9	(+0.4)	+	1479.5	(117)	+	103	1861.4	(95)	-		
	豊岡	14.5	(+0.5)	+	2083.5	(105)	+	165	1393.8	(92)	-	
姫路	15.5	(+0.6)	+	1404.5	(114)	+	100	1862.4	(95)	-		
洲本	15.4	(+0.1)	○	1651.0	(113)	+	113	1881.6	(91)	-		
奈良	14.9	(+0.3)	+	1364.0	(102)	○	120	1661.3	(90)	-		
和歌山	16.8	(+0.4)	+	1420.5	(106)	○	104	1885.6	(91)	-*		
	潮岬	17.2	(+0.2)	○	2847.0	(112)	+	144	1907.7	(88)	-*	
岡山	16.4	(+0.6)	+	1254.0	(110)	+	100	1866.1	(93)	-*		
	津山	13.9	(+0.5)	+	1347.0]	()		121]	1652.5	(92)	-	
(統計月数:11) (統計月数:11)												
広島	16.3	(+0.2)	○	1959.5	(127)	+	103	1937.6	(97)	-		
	呉	16.4	(+0.5)	+	1646.0	(115)	+	100	1936.9	(97)	-	
福山	15.6	(+0.6)	+	1309.5	(113)	+	98	1909.4	(92)	-*		
松江	15.0	(+0.4)	+	1885.5	(105)	○	155	1576.3	(91)	-		
	西郷	14.3	(+0.3)	+	1910.5	(109)	○	145	1600.0	(88)	-	
浜田	15.5	(+0.3)	+	1666.5	(98)	○	134	1715.3	(99)	○		
鳥取	15.0	(+0.4)	+	1625.0	(86)	-	158	1637.7	(98)	○		
	米子	15.2	(+0.5)	+	1813.0	(101)	○	150	1687.3	(96)	-	
境	15.3	(+0.4)	+	2066.0]	()		150]	1600.3	(91)	-		
(統計月数:11) (統計月数:11)												
徳島	16.7	(+0.5)	+	1495.0	(97)	○	110	1890.1	(92)	-		
高松	16.5	(+0.7)	+	1212.0	(108)	○	103	1862.6	(90)	-*		
	度津	16.3	(+0.3)	+	1142.0	(105)	+	103	1937.5	(92)	-	
松山	16.7	(+0.6)	+	1469.0	(113)	+	110	1917.3	(97)	○		
	宇和島	17.1	(+0.6)	+	2217.0	(134)	+*	118	1851.1	(97)	-	
高知	17.7	(+1.1)	+*	3212.5	(122)	+	121	2034.0	(96)	-		
	宿毛	17.5	(+0.9)	+*	2053.0	(103)	○	121	2005.3	(100)	○	
清水	18.8	(+0.9)	+*	2421.0	(100)	○	114	2065.3	(94)	-		
室戸岬	17.0	(+0.6)	+	2636.0	(112)	+	130	1956.8	(92)	-		
山口	15.8	(+0.8)	+	2224.5	(118)	+	119	1804.6	(95)	-		
	下関	17.0	(+0.8)	+	2259.5	(134)	+*	110	1845.5	(97)	-	
萩	15.8	(+0.5)	+	1701.0	(100)	○	120	1675.2	(97)	-		

地名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)	
福岡	17.2	(+0.6)	+	2018.0	(124)	+	115	1829.0	(99)	○
飯塚	15.9	(+0.5)	+	2317.0	(129)	+	127	1757.6	(98)	○
大分	16.9	(+0.9)	+*	1989.5	(119)	+	108	1926.7	(99)	○
日田	15.8	(+0.7)	+	1984.0	(108)	+	129	1737.1	(99)	○
長崎	17.5	(+0.6)	+	2535.0	(129)	+*	119	1852.6	(99)	○
厳原	15.9	(+0.4)	+	2757.5	(129)	+	101	1819.0	(97)	—
平戸	16.4	(+0.5)	+	2559.0	(119)	+	114	1756.4	(98)	—
佐世保	17.4	(+0.9)	+*	2206.5	(113)	○	112	1876.9	(97)	○
福江	17.1	(+0.6)	+	2761.0	(117)	+	117	1698.8	(98)	○
佐賀	17.0	(+0.9)	+*	2231.5	(118)	+	109	1888.7	(100)	○
熊本	17.6	(+1.1)	+*	2800.5	(141)	+*	130	1924.0	(98)	○
阿蘇山	10.5	(+0.9)	+*	4021.0	(124)	+	145	1482.8	(98)	○
人吉	16.1	(+0.9)	+*	3006.0	(125)	+*	136	1774.5	(99)	○
牛深	18.3	(+0.5)	+	2341.0	(115)	+	114	1944.2	(100)	○
宮崎	17.9	(+0.7)	+	2435.5	(99)	○	112	2003.3	(95)	—
延岡	17.1	(+0.8)	+*	2243.0	(97)	○	115	2020.9]	()	
								(統計月数:11)		
都城	17.1	(+1.0)	+*	2413.0	(99)	○	116	1849.8	(94)	—
油津	18.7	(+0.8)	+*	2573.5	(99)	○	126	1837.3	(94)	—*
鹿児島	19.2	(+0.9)	+*	2280.5	(100)	○	126	1940.8	(101)	○
阿久根	17.7	(+0.8)	+*	2943.5	(138)	+*	128	1936.8	(100)	○
枕崎	18.5	(+0.7)	+*	1818.5	(85)	—	127	1858.7	(97)	—
屋久島	20.1	(+0.9)	+*	4674.0	(107)	+	154	1547.7	(103)	○
種子島	20.1	(+0.5)	+	2074.0	(89)	—	118	1801.1	(96)	○
名瀬	22.2	(+0.7)	+*	2490.5	(85)	—	157	1383.4	(100)	○
沖永良部	23.0	(+0.7)	+*	1786.5	(90)	—	112	1839.8	(98)	—
那覇	23.5	(+0.8)	+*	2068.0	(102)	○	142	1620.8	(89)	—*
名護	23.0	(+0.5)	+*	2324.5	(109)	+	141	1679.0	(95)	—
久米島	23.3	(+0.6)	+*	2226.0	(104)	○	137	1645.4	(94)	—
宮古島	23.9	(+0.6)	+*	2242.0	(111)	+	131	1658.8	(94)	—
石垣島	24.6	(+0.6)	+*	1905.5	(92)	—	126	1635.5]	()	
								(統計月数:11)		
西表島	24.1	(+0.7)	+*	2139.0	(91)	—	144	1641.9	(107)	+
与那国島	24.1	(+0.5)	+*	2782.5	(118)	+	152	1473.6	(93)	—
南大東島	23.8	(+0.7)	+*	1143.0	(69)	—*	105	2171.3	(105)	+

(注) 1. 平年値は1971～2000年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1971～2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1971～2000年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に*を付加した。この場合にはかなり高い(多い)かなり低い(少ない)と表現できる。

3. 値の横に) や] がある場合には、年別値を求める際に使用したデータ(月別値)に欠測等が含まれていることを示す。) 付きの値(準完全値)は通常のものと同様に扱うことができるが] 付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計月数(統計に用いた、品質が十分な月別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、月別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

5 順位更新表 2006 年

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

年平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃ (西暦年)	開始年	平年値 ℃
2	鹿児島	19.2 =	+0.9	19.8 (1998)	1883	18.3
	都城	17.1 =	+1.0	17.8 (1998)	1943	16.1
	油津	18.7 =	+0.8	19.5 (1998)	1949	17.9
	屋久島	20.1	+0.9	20.6 (1998)	1938	19.2
	名瀬	22.2 =	+0.7	22.6 (1998)	1897	21.5
	西表島	24.1	+0.7	24.5 (1998)	1955	23.4
	石垣島	24.6	+0.6	25.4 (1998)	1897	24.0
	宮古島	23.9 =	+0.6	24.8 (1998)	1938	23.3
	久米島	23.3 =	+0.6	24.2 (1998)	1959	22.7
	那覇	23.5 =	+0.8	24.4 (1998)	1928	22.7
	名護	23.0	+0.5	23.8 (1998)	1974	22.5
	南大東島	23.8 =	+0.7	24.7 (1998)	1947	23.1
3	佐世保	17.4 =	+0.9	17.9 (1998)	1947	16.5
	熊本	17.6	+1.1	18.2 (1998)	1891	16.5
	阿蘇山	10.5 =	+0.9	11.2 (1998)	1933	9.6
	延岡	17.1 =	+0.8	17.7 (1998)	1962	16.3
	人吉	16.1	+0.9	16.8 (1998)	1943	15.2
	枕崎	18.5 =	+0.7	19.2 (1998)	1924	17.8
	高知	17.7	+1.1	18.2 (1998)	1886	16.6
	宿毛	17.5	+0.9	18.1 (1998)	1943	16.6
	清水	18.8	+0.9	19.5 (1998)	1941	17.9
		沖永良部	23.0	+0.7	23.6 (1998)	1970

年平均気温低い方からの順位更新

3位以内はなし

年降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
1	小名浜	1989.5	144	1965.9 (1920)	1911	1383.0
2	若松	1580.5	139	1714.9 (1958)	1954	1133.8
	千葉	1726.0	133	1910.5 (1991)	1967	1293.8
3	熊本	2800.5	141	3369.0 (1993)	1891	1992.7

年降水量少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
2	留萌	910.5	77	819.0 (1984)	1943	1179.8
	南大東島	1143.0	69	1050.0 (2002)	1947	1649.8
3	北見枝幸	995.5	82	958.0 (1984)	1943	1210.7

年間日照時間多い方からの順位更新

3位以内はなし

年間日照時間少ない方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最小 h (西暦年)	開始年	平年値 h
1	潮岬	1907.7	88	1978.0 (1970)	1913	2166.7
2	東京	1587.8	86	1535.4 (1998)	1891	1847.2
	館山	1655.3	85	1638.6 (1998)	1969	1949.6
	三宅島	1460.2	85	1453.9 (1998)	1942	1714.0
3	大船渡	1580.5	86	1550.6 (1998)	1964	1836.3
	新庄	1210.9	90	1134.3 (1995)	1958	1348.2
	網代	1485.5	83	1460.6 (1953)	1938	1789.1
	千葉	1623.5	87	1550.4 (1998)	1967	1860.8

(注) 値の横に] がある場合には、年別値を求める際に使用したデータ（月別値）に欠測等、統計に用いなかった値が含まれている（資料不足値）。順位は更新順位以上になることは確実であるが、統計値の使用に際しては気候表に記載した統計月数を参照されたい。
平年値とは1971～2000年の30年間の値を平均したものである。